

真砂小学校区コミ協だより

第22号

平成29年3月10日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会

編集:真砂小学校区コミュニティ協議会広報部会

第2回真砂文化祭を開催



10月22日(土)、23日(日)
地域で活動しているグループや芸術家などに発表の場を、また地域の方々に芸術・文化にふれる機会を設けて芸術・文化に親しみ、地域に愛着を持ってもらえるよう昨年に引き続き開催しました。



明倫短期大学を会場に
明倫短期大学文化芸能部の民謡、クラブ(小学生)の演奏、男声コーラス「しなのグリーンクラブ」、また23日(日)のステージ発表では真砂民謡会、ハワイアンフラ「リーロア」、真砂ミュージッククラブ(小学生)の演奏、男声コーラス「しなのグリーンクラブ」、



の両日、絵画・写真・押し花・染・陶芸・生花など、1グループと48名、57点の作品を展示、268名の方が鑑賞しました。
遠藤三雄様のエレキギターと、過足薫様のキーボード演奏、吹雪さくら様の歌謡曲など5グループと3名から出演をいただき、117名の方が堪能しました。
出品、出演者及び開催にご協力いただいた皆様ありがとうございます。



平成29年度も開催予定です。多くの方々からの出品、出演を期待しています。



真砂コミ協が「海岸協力団体」に指定される

コミ協が例年実施してきた海岸飛砂防止対策の一環「浜にんにく植栽」が27年度事業として昨年3月26日午後、コミ協と関係者ら60名の参加で実施されました。

この日、植栽活動に先立ち国土交通省北陸地方整備局より全国初の「海岸協力団体」の指定書が交付され、その授与式が行われました。

この制度は、自発的に海岸の維持、海岸環境の保全、海岸管理に関する調査研究等を行うNPO等の民間団体を支援する制度で、海岸管理者と提携して活動する団体として法律上位置づけることにより、自発的な活動を促進しようとするものです。

コミ協では生活環境部会が中心になり平成22年から海岸線(402号)の飛砂対策として海岸植物の植栽、勉強会(含む現地視察会) 清掃活動(五十嵐中学校区育成協と共に)等を進めてきた活動が評価されました。

授与式には信濃川下流河川事務所、井上所長より、大谷会長に「指定書」が手渡されました。

大谷会長は「この指定を励みに国・県・市と地域が一体となつて更に活動を前進させたい」と決意を述べました。



第三回撮影会 文化部会

平成28年10月16日(日) 寺尾中央公園で、講師「モノクローム新潟」代表取締役原澤秀明氏を招き、12名の参加者で開催した。

10月下旬が見ごろと予測していたが、記録的な猛暑で咲いている花が少なかった。しかし雨の心配をせずに、すがすがしい秋晴れの下思いう存分シャッターを押すことができた。

今回はもっとと多彩な被写体と時間のある所で開催したいです。



ところが外来種は春・夏・秋に花を開き、おまけに雌しべが欠けても実をつけるというものでした。

加えて戦後の高度経済成長の中でどんどん都市化・土地開発を拡大していく私たちが営みで日当たりと荒れ地を好む外来種に住み家を提供してしまつたのです。

大切なことは「セイヨウタンポポ」と決めつけないで身辺で起きている現象をしっかりと見て自分で取るべき方向を決めるべきだと再確認をしました。両タンポポも奇麗です。大切に育てたいですね。

最後に、庭や畑の雑草を「邪魔者」とのけ者にしないで、こまめに摘んで堆肥にして返してやりましょう。植物の種は何千年でも地中でじつと辛抱強く発芽の時期を待っているのです。先生のお話に「目から鱗」でした。



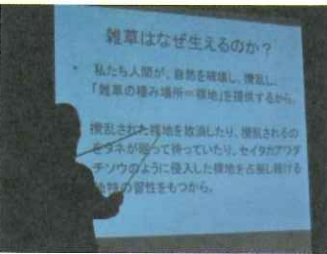
白鳥部会長挨拶

第五回 文化講演会開催

平成29年1月22日(日) 坂井輪コミセンにて講師「新潟大学名誉教授」森田竜義先生を迎えて、「雑草はなぜ生えるのか」を、テーマに開催。参加者48名。開催時期が真冬であったことで参加者が遠慮されたようでした。

誰もが知っていた「タンポポ」の話、在来種とタンポポがなぜ見られなくなったのか。

あの池の中でもともと泳いでいたフナ・タナゴ等が外来のブラックバスに食べられてしまったように新参



森田竜義先生

で堆肥にして返してやりましょう。植物の種は何千年でも地中でじつと辛抱強く発芽の時期を待っているのです。先生のお話に「目から鱗」でした。

青少年健全育成部会の活動

文化祭イベント「プレイゾーン」

10月22日(土)に真砂小学校文化祭イベントとして「プレイゾーン」を開催しました。今年は、昼食時間帯をさむ11時〜14時半として昨年より長く時間をとりました。

前半は昼食会場となる体育館の後方スペースで、お手玉・おはじき、けん玉、コマ回しなど、昔々今のさまざま遊びの場「ミニプレイゾーン」を設けました。

後半は体育館の全面を使用して、メインイベントの紙ヒコーキ大会、長なわとび、ヘルスバレーボール大会、工作コーナーを用意しました。

参加者は約300名、会場には最後まで子どもたちの歓声が飛び交う大いに盛り上がった一日でした。



まさご体験教室

「スポーツ鬼ごっこをやってみよう」

11月2

日(土)に、まさご体験教室「スポーツ鬼ごっこをやってみよう」を

真砂小学校体育館で開催、約70名の参加がありました。

コートで二手に分かれ、自陣の宝を守りつつ相手陣地の宝を奪い

にいく、アタマとカラダを使う鬼ごっこ感覚を取り入れたスポーツです。真砂っ子たちは飲みこみも早く、すぐに実戦可能で、4チーム総当たり戦を実施、秋の体育館を熱気で包みました。



交通安全防犯部会の活動

交通事故防止のため立哨を行う(通年)。地域のパトロールについては、夏の小針浜・寺尾浜、夕日コンサート会場、ラブ坂井輪まつり会場、地域公園の外灯・遊具の点検を行いました。

朝の子供達の挨拶は小学校入口の所では70%位で行われていたと思います。中学生の皆さんも必ず返事を頂き、小学生の挨拶運動は定着したように思います。

青色パトロールについては今年度の8月より畑野功さんから四ツ谷昌昭さんに変更になりました。

毎週月・水・金の下校時にパトロールは小学校の玄関より出発して行っています。

最近では低学年にやつと覚えてもらい、出発時には生徒より挨拶も貰えるようになりました。

平成26年に始めてから3年が経ちました。地域の子供達の為安全と安心を続けたいと思っております。



生活環境部会

海岸線の飛砂対策勉強集会開く

平成28年11月21日(月)午後7時より真砂会館にて海岸線402号飛砂対策勉強集会が開催されました。

この集会にはコミ協生活環境部会が海岸線402号の飛砂対策の一環として、これまで6年間余に亘る活動を振り返りながら、今後の対策をすすめるため開催されたものです。

集会には国交省信濃

川下流河川事務所、県の治山課と新潟地域振興局、区建設課とコミ協役員、自治会長と地域住民等、50名が参加しました。

冒頭、大谷コミ協会長は、挨拶でコミ協として飛砂対策や海岸清掃、海岸保安林整備などの継続的な取り組みを進めてきた。この活動が評価され今年3月国交省から「海岸協力団体」に全国第1号として指定されたことを



紹介。今後も行政との協働で活動をすすめることの決意を述べた。

その後、集會次第にそって進められた。最初に根本生活環境部会長が6年余の活動を資料にそって要点を報告。

飛砂対策を西区が重点課題として取り上げ対応してもらったこと、活動では国・県・市との協働が重要であり、住民自身の問題として取り組むことの重要性等が報告された。

新潟大学農学部 権田豊先生

飛砂のメカニズムと、その対策を説明。日本海側から北西の季節風が10mを越えると極端に飛砂が増える。砂の露出や、乾燥にもよる。

対策としては溝(深さ3m、幅3m)、柵、人工丘など。昨年造られた人工丘では飛砂が従前の16分の1に減った。今後も観測を継続する必要あり。

尚、人工丘等はメンテナンスが大切に放置しておくこと、直ぐに機能しなくなることを強調した。



国交省信濃川下流河川事務所

これまで関屋分水から新川まで(7.9km)を護岸対策として人工リーフや離岸堤を施し、これまで砂丘は平均で約50m回復した。

また海岸線に溜まった飛砂は関屋浜に移送し養浜事業として再利用している。

県・新潟振興局

海岸保安林については飛砂防止のため築堤や、そこへの植物の植え付けなど、系統的に進めている。今後も地域の皆さんと一緒に対応する。



西区建設課

平成26、27年度で人工砂丘2本約490m施工。そこに浜にんにくを植栽。その他に飛砂防止柵、堆積ヤードも設置。

効果として道路の除砂のため冬季にブルドーザーの稼働が47回(平成26年)もあったが、昨年は14回に減った。

その費用も年平均700万円もあったが、昨年は250万円だった。



世代交流の集い「こどもたちと遊び隊」 福祉部会

平成28年8月23日(火)真砂会館で、高齢者28名・小学生50名計78名の参加で開催しました。

前半は全委員一緒に「ナマラ」所属のブルーアート芸人mina様の指導でブルーアートに挑戦。

後半は、お手玉、あやとり、将棋等七つの種目に分かれて高齢者から小学生が教えてもらいながら楽しみました。

高齢者・小学生がお互いから元気や知識を得て、有意義な時間を過ごしました。



真砂うきうき元気塾 「ウキウキ元気に生きましょう」

平成28年9月17日(土)に高齢者の健康増進を目的とした講座を参加者87名で坂井輪コミュニティセンターで開催しました。

今年「認知症を知ろう」と題して、認知症の症状・認知症の予防について、包括支援センター坂井輪の高澤真由美様を中心に、保健師3名の方々から講話・寸劇・実習で指導して頂き、認知症の予防では明倫短大の野村章子教授を中心とした10名の方々から、お口の中からの予防を講話と実習で指導して頂きました。



スポーツ部会の活動

平成28年度野球大会

真砂・松海が丘

野球連合会リーグ戦

・実施場所

真砂小学校グラウンド

・参加チーム

6チーム

・実施期間

4月24日～8月21日

・成績

優勝 松海が丘3丁目

準優勝 真砂2丁目

・優秀選手

若林一志選手

(松海が丘3丁目)

日報杯・信金杯

トーナメント大会

・実施場所

真砂小学校グラウンド

・参加チーム

6チーム

・実施日

7月31日(日)

8月7日(日)

・成績

優勝 真砂2丁目

準優勝 松海が丘3丁目

・優秀選手

岡田正樹選手

(真砂2丁目)



第4回

グラウンドゴルフ大会

平成28年9月27日(日) 5チーム21名の参加で午前9時より12時まで真砂小学校グラウンドで実施。

当日は快晴・気温22度の爽やかな秋風のもと松海が丘の3連覇を阻もうと楽しいゲームが展開され、真砂ロイヤルズがホールインワンを含むハイスコアで見事優勝しトロフィーを獲得した。

第3回

真砂コミ協杯争奪町内ゴルフ大会

平成28年10月27日(木) 5チーム20名の参加で9時30分スタート。

第1回から2位に甘んじてき西小針台が、常勝松海が丘を僅差のスコアで上まわり、念願の初優勝をし、コミ協杯を獲得した。

成績 団体優勝 西小針台チーム(富岡・今泉・磯西)

準優勝 松海が丘チーム(森下・大谷・本多・高山)

個人優勝 今泉誠衛

準優勝 塩原光夫

楽しいスポーツ教室

平成29年2月8日(水) 西総合スポーツセンターに於いて開催。

当日は元気の良い田村インストラクターの声に励まされて、寒さで固まった身体はストレッチで揉みほぐされた。ほっと一息ついた後は、お馴染みの「サザエさん」マーチで童心にかえって「リズム運動」を行い、その後ピンポンを楽しんで終了。

この後3月にかけて3回開催した。



編集後記

平成20年3月に創刊されて以来、「コミ協だより」も22号となりこの間様々な記事を書き寄せてきました、しかし記事の内容も毎年同じような記事になっていて、中身を刷新するようには努力する必要があります。次回の発行は8月頃の予定です。